

2009年(平成21年)10月9日(金曜日)

# 庁舎保存区に要請

世田谷の  
建築家団体  
4300人分の署名も

世田谷区の本庁舎建築家・故前川国男氏の設計。開放的な中庭と、荒々しいコンクリート打ち放しの外観が特徴で、専門家からは「モダニズムの手法で地域文化施設のあり方を示し、近代建築史上でも重要」(日本建築学会)と高い評価がある。

本庁舎の複数の建物のうち、前川氏の設計は、区民会館(一九五九年完成)と第一庁舎(六〇年)、第二庁舎(六九年)の三種。区

世田谷区の本庁舎建築家・故前川国男氏の設計。開放的な中庭と、荒々しいコンクリート打ち放しの外観が特徴で、専門家からは「モダニズムの手法で地域文化施設のあり方を示し、近代建築史上でも重要」(日本建築学会)と高い評価がある。

本庁舎の複数の建物のうち、前川氏の設計は、区民会館(一九五九年完成)と第一庁舎(六〇年)、第二庁舎(六九年)の三種。区

の審議会は八月、老朽化などを理由に「改築が必要」と答申した。区は数年内に基本構想をまとめる方針だ。

答申には「庁舎に文化性は必要ない」という意見も少なくなかった」との記述もあり、「歴史的価値」の議論は軽視された。黒木さんは「区の認識を変えらるため、建物の重要性をさらに広く訴えていきたい」と話している。